

第 158 回 運輸の日（統一行動：川崎地区連）

日 時 2023 年 11 月 06 日（月） 10：00～
場 所 東神トラックステーション
行 動 者 今井 勇（ヤマト運輸労働組合厚木支部）
数見 秀樹（ヤマト運輸労働組合神奈川支部）
小泉 一樹（丸運トランスポート東日本労働組合）
松本 稔（丸運トランスポート東日本労働組合）
岡本 紀子（ヤマト運輸労働組合厚木支部）

恒例の 11 月統一行動を大和市：東神トラックステーションにて実施しました。

早朝から雨が降っていたため実施できるかどうか心配でしたが、雨も止み、一気に晴天！気温も 26℃と蒸し暑い中取り取り組んだのは、川崎地区連絡協議会とヤマト運輸労働組合厚木支部、計 5 名にて行動しました。

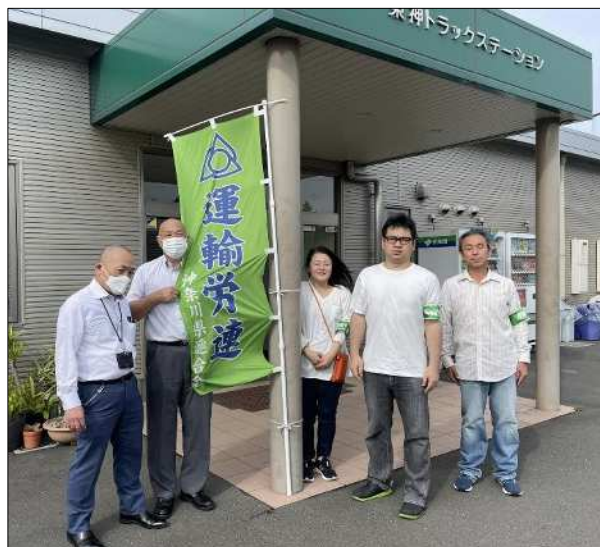
今日は初日、ということで取りが良く、独自のアンケート調査にも快く応えていただきました。

昨年同様に、大型トラックの高速走行、80 キロからの規制緩和、100 キロについて意見を聞きました。

あるドライバーの方は、大反対！これだけ居眠りや、睡眠不足による事故がある中で、なぜ規制緩和なのか？意味がわからない！と述べていました。一方で、賛成意見もあり、歩合だから速く着いて休息が取れるから 100 キロでも良い。と応えるドライバーもいました。

100 キロに対応するトラックでのブレーキは、現在 90 キロまでの対応で、一からの開発が必要であると聞く！実証実験も必要だが、100 キロまで速度は出ても、果たして積荷がある状態でタイヤへの影響は本当に大丈夫なのか？ブレーキは大丈夫なのか？疑問は多く残ります。

品川のドライバーの方は、眠くなったら顔を洗うことが一番、走行中でも湿ったタオルで顔を拭うだけでも効果はある。持論にはなるが、事故を起こさないためにも、眠くなった時には、ハザードを点滅させて左側を走行、そこでは速度を落とすいつでも止まれる感じで走行し、パーキングやインターがあれば降りる。どうしても無理をして走行すると意識が飛んでしまい大事故に



つながる。一定のルールを作る必要がある。また、この 2024 年問題がある中で、特にバラ積み、バラ卸は発着荷主でやってくれば、その間、ドライバーも休むことができるという。2024 年は物流革新の年、業界も出来ないものは出来ないとはっきり言うべきだ。とごびを強めていました。

本日の行動者

神奈川県連第 158 回、運輸の日全国統一行動を 11 月 6 日 10 時より東神トラックステーションにて、5 日間連続して開催しました。各地区連絡協議会から日別で参加して頂き、初日は川崎地区連絡協議会から数見さん、小泉さん松本さん、岡村さんに参加されました。

朝は雨が降り開催が心配されましたが、天気恵まれ晴れ間もあり活動がしやすかったです。運輸労連パンフレットの配布、アンケートでは高速道路速度制限緩和について伺いました。午前中は駐車場の空きがありトラックの入れ替わりで多くのパンフレットを配布することが出来ました。

神奈川県連ならではの運輸の日をこれからも継続して開催していきます。皆さんのご協力を宜しく願います。

今井 勇（ヤマト運輸労働組合厚木支部）

全国統一組織拡大行動

久しぶりにトラックステーションに来ました。第一印象として低床のトラックが増えたのと衝突低減装置付きのトラックも増えた事に驚きました、ナンバープレートを見ると全国のトラックが集まり、日本の血管としてトラックが動いてる事を改めて感じました。停車中のトラックは全てカーテンを閉めエンジンを掛けて仮眠中のようです。格安の仮眠設備が必要ではと考えさせられます。トラックのベットでは寝返りも満足に出来ず健康にも良くないのではと思います。日本のインフラとも言える運輸産業に公的支援をお願いしたいと強く要望します。

数見 秀樹(ヤマト運輸労働組合神奈川支部)

月曜日、週の始めもあり、駐車スペースには、まだ多少の空きはありましたが、あっという間に満車近くなりました。8割近い車両ではカーテンが閉まっている状態でした。

ドライバーアンケートでは、「高速道路 100km/h 規制緩和 賛成か反対？」以外に賛成が多かった…そして、今日は、暑かった…

小泉 一樹(丸運トランスポート東日本労働組合)

東神トラックステーションにて、今回のアンケート調査トラック高速道路 100km 走行について、やはり社速があつてのスピードなので変わらないと無理と言う回答が多かったです。また、スピードが早くなると事故が増えるので、現状のままという意見が多く感じました。私もやはり現状ままの速度が安全で一番良いと思います。

松本 稔（丸運トランスポート東日本労働組合）

3 連休明けの月曜日。11 月なのに 25°を超える晴天の中、神奈川県連の運輸の日統一行動に参加してきました。

高速道路の大型車両の走行速度変更に関してのご意見を伺いました。ほとんどのドライバーのみなさんが速度を変えることでの事故の増加を懸念されており、現状維持で良いと言うご意見でした。

また現在はインターバル、430 休憩時間など、ドライバーさんの働き方にも大きな変化があり、2024 問題への各企業の取り組みへの重要度を感じました。

岡本 紀子(ヤマト運輸労働組合厚木支部)